学校番号	３１６

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭総合　（東京書籍）						
副教材等	生活ハンドブック（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 授業は、プリント学習で進めます。最初の授業でファイルを用意→毎時間配布するプリントを完成させて提出→検印を押してもらう→返却されたプリントをファイルにとじる→テスト勉強→テスト前にファイル提出（毎時間きちんとプリントを提出すること、返却されたプリントを管理すること）
- 授業では、プリントの空欄を穴埋めして知識を習得することだけを目的とするのではなく、それが自分の生活とどのように関わっているのかを考える姿勢を忘れないでください。学んだことを自分の生活の問題と捉え、よりよい生活を目指して欲しいと思います。
- 家庭・社会生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。友達の考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
- 実習を通して科学的な知識に基づいた確かな技術を身につけてください。

2　学習の到達目標

・人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得する。
・学習した知識や技術を生かし、家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育てる。
・家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて感心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する技術を総合的に身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識を総合的に身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 実習記録表 レポート・発表	学習状況の観察 プリントの記述 実習記録表 レポート・発表 定期考査	学習状況の観察 プリントの記述 レポート・発表 製作品	学習状況の観察 プリントの記述 実習記録表 レポート・発表 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	被服	・被服の役割・機能を考える ・被服を入手する ・被服材料 ・被服を管理する ・被服製作	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○	a:衣生活に関心を持ち、人間と被服、気候と被服の役割を考えようとしている。被服材料、被服構成、縫製技術に関心を持ち、被服製作に取り組もうとしている。 b:被服の機能と着装、材料の性能、着心地について考え、まとめたり発表したりしている。 C:健康で快適な衣生活を営むために必要な技術を身につけている。 d:着装、被服材料、被服構成、被服製作、被服管理などについて科学的に理解している。	学習状況の観察 プリント記述 レポート 発表 定期考査 製作品 実習記録表
2学期	食物	・食生活の安全と衛星 ・調理の基礎 ・調理実習 ・食生活の文化と知恵 ・日本の食問題	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:食品表示に関心を持ち、食生活の安全と環境について考えようとしている。調理実習や実験などに、科学的な視点から積極的に取り組もうとしている。 b:食品をめぐる近年の事情から食生活の安全性や環境について思考を深めている。食文化のあり方や継承について考えている。 c:主体的に食生活を営むために必要な情報を収集・整理し、検討することができる。食生活をよりよくするための調理に関する基礎的・基本的な技術を身につけている d:栄養、食品、調理および食品衛生など、食事と健康との関わりについて、科学的に理解している。調理実習を通して食生活の自立に必要な知識を身につけている。現代の食生活の課題、食文化、食品の安全性と環境についての課題を認識し、その知識を身につけている。	学習状況の観察 プリント記述 レポート 発表 定期考査 実習記録表

	住居	・住生活の文化 ・住生活の計画と選択 ・安全で快適・健康な住生活 ・これからの住生活	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:安全で快適な住まい方や住環境について考えようとしている b:ライフスタイルや価値観に応じた生命と健康を守るための暮らしのあり方について考え、まとめたり、発表したりしている。 c:よりよい居住環境を整備するために必要な平面図を読み取ることができる。健康や安全に配慮した住環境について情報を収集・整理し、検討することができる。 d:住居の機能、住環境の機能などについて科学的に理解し、完全で快適、かつ健康な住生活を主観的に営むために必要な知識を身につけている。	学習状況の観察 プリント記述 レポート 発表 定期考査
3学期	保育	・命を育む ・子どもの育つ力を知る (身体の特徴・発達) ・親としてともに育つ ・これからの保育環境・福祉	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:母体の健康と子どもの誕生、子どもの心身の発達について関心を持ち、家族の果たす役割を考えようとしている。子どもを取り巻く環境や子育てにおける課題に関心を持ち、課題解決に向けて考えようとしている。 b:子どもを取り巻く環境の変化と子どもを生み育てることの意義、社会・地域・親の果たす役割について考え、課題を見出し、まとめたり、発表したりしている。 c:子どもの生活や子どもを取り巻く環境、子育てにおける課題などについて、情報を収集したり、調査することができる。 d:生命の尊さ、子育ての意義の重要性について理解している。妊娠や出産に関わる知識を身につけている。子どもの心身の発達や生活や環境とのかかわりについて、家族および地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。	学習状況の観察 プリント記述 レポート 発表 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。